京都工芸繊維大学同窓会　令和元年度建築見学会と学生交流会
第１部；松本酒造 万暁院等建築見学会

矢ヶ崎善太郎氏（1985 年本学建築学専攻修了、大阪電気通信大学教授）に尽力を頂き、松本酒造株式会社の松本保博代表取締役社長のご厚意により、松ヶ崎祭初日の令和元年 11 月 22 日（金）14 時から見学会を行いました。

煉瓦造りや木造の酒蔵のほか、敷地の一角に迎賓館「万暁院」（昭和 29 年完成）と庭園「畫舫園」があります。「万暁院」の玄関と東門は建仁寺の塔頭・正伝院から移築されたもので、犬山に現存する国宝の茶室「如庵」とともにあった建築です。特に、玄関は織田長好が好んだ長好閣の遺構で、江戸時代前期の特徴を示す唐和風の曲線が美しい。大正 11 年に現在の地に酒造り場を増設されました。「必殺仕事人」や多くのテレビ、映画で、煉瓦倉庫、煙突などおなじみです。

入り口看板

「万暁院」玄関の前で記念撮影（前列右から３人目が松本社長）

庭園「畫舫園」

松本社長と矢ヶ崎教授から万暁院等の歴史的、学術的価値についてご講演頂きました。松本社長からは、酒造りの心がまえや、「原料に勝る技術無し」の話や、昼夜の気温差で酒米の品質が変わることなど、多くのノウハウも聞かせて頂きました。

その後、工場内も見学させて頂きました。お酒の製造工程について詳細な説明をして頂きました。ありがとうございました。

第２部；学生会員との交流会

山崎会長 挨拶

森迫学長 挨拶

八田副会長 乾杯発声

運動部（バスケットボール部、ラグビー部、アメリカンフットボール部の３団体）へ活動奨励金を授与しました。各クラブの代表が挨拶し、熱心に取り組んでいる部活動の状況や今後の抱負を述べました。

また、同窓会誌「工繊」に寄稿した学生達（海外インターンシシップに参加）が交流会に加わり、海外での共同研究や異文化交流などの体験談を披露しました。

河島副会長の中締めで、学生との賑やかな交流会を盛会のうちに終えました。